

平成 28 年度大型 MICE 施設受入に伴う公共交通走行環境調査業務 仕様書

1. 委託業務名

平成 28 年度大型 MICE 施設受入に伴う公共交通走行環境調査業務

2. 履行期間

契約締結の日から平成 29 年 3 月 31 日までとする。

3. 業務目的

大型 MICE 施設整備に伴う新たに発生する交通需要への対応等について検討を行うため、現況における公共交通の走行環境、交通弱者等含めたバスの利用環境等について調査を実施し、課題を抽出するものとする。

4. 業務内容

(1) 計画準備

業務の工程および必要な検討事項、作業内容を整理し、実施計画にまとめ発注者と協議を行うものとする。

(2) 走行環境調査実施箇所の選定

- 1) 現況の公共交通ネットワークに基づき各地域から MICE 施設までの移動経路及び当該移動経路上における現況の利用者数の整理（既存資料をもとに整理）
- 2) 複数の系統等が集中し、MICE 施設稼働に伴い大きな需要等への対応が見込まれる区間（道路）の検討
- 3) MICE 施設への移動の円滑化の観点から、新たに路線の追加が想定される区間の検討
- 4) まちづくり等上位関連計画の観点から、新たに路線の追加が想定される区間の検討を行う。
- 5) 2) 3) 及び 4) の検討結果を踏まえた、走行環境調査実施箇所の選定。

(3) 走行環境調査の実施

(2) で選定した箇所について以下の調査を実施する。

※調査対象区間（距離）は、(2) の検討結果により決定されることから、本業務では、調査延長を 4 車線 20km、2 車線 10km として一旦想定するものとし、最終的には(2) の検討結果を踏まえ、距離の増減については、変更協議の対象とする。

① 走行実態調査

- ・ 表定速度、道路の混雑状況、断面交通量（既存資料をもとに整理）
- ・ バスの走行性（旅行速度、定時性）（バスロケデータ活用により把握、20 路線）

② バスの走行・利用環境調査

- ・ 歩道等幅員（路肩有無、植栽、歩道・自歩道幅員など含む）
- ・ 各バス停毎に、バスベイの規模及び現状の停車状況（課題等）
- ・ 各バス停毎に、上屋の有無や規模待ち環境の現況把握及び利用実態（課題等）
- ・ 信号交差点、無信号交差点の箇所数
- ・ 交差点部におけるノンステップバスの走行環境

- (4) MICE 施設整備に伴う公共交通利用にあたっての課題の抽出
(3) の走行環境調査を踏まえた路線（区間）毎の課題の抽出

(5) 報告書作成

検討結果及び現況調査結果については、写真、検討に必要なデータ、図表等が盛り込まれていること

(6) 打ち合わせ協議

打ち合わせ協議は、3回実施するものとする（中間1回）。

5. 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

- ・ 報告書（A4版）：3部
- ・ 電子データ（CD-R）：1部
- ・ その他担当職員から指示のあったもの：1式

6. 再委託の制限等

(1) 一括再委託の禁止等

契約の全部の履行を一括又は分割して第三者に委任し、又は請負わせることができない。また、以下の業務（以下「契約の主たる部分」という。）については、その履行を第三者に委任し、又は請負わせることができない。

ただし、これにより難い特別な事情があるものとしてあらかじめ県が書面で認める場合は、

これと異なる取扱いをすることがある。

○契約の主たる部分

- ・ 契約金額の50%を超える業務
- ・ 企画判断、管理運営、指導監督、確認検査などの統轄的かつ根幹的な業務

(2) 再委託の相手方の制限

本契約の公募参加者であった者に契約の履行を委任し、又は請負させることはできない。また、指名停止措置を受けている者、暴力団員又は暴力団と密接な関係を有する者に契約の履行を委任し、又は請負させることはできない。

(3) 再委託の承認

契約の一部を第三者に委任し、又は請負せようとするときは、あらかじめ書面による県の承認を得なければならない。

ただし、以下に定める「その他、簡易な業務」を第三者に委任し、又は請負せるときは、

この限りでない。

○その他、簡易な業務

- 資料の収集・整理
- 複写・印刷・製本
- 原稿・データの入力および集計
- その他単純作業的な業務であって、容易かつ簡易なもの